

# 設計・企画・研究開発実務者のための 特許調査のコツと公報の読み方

【LIVE配信】【アーカイブ配信】

1名分料金で  
2人目無料セミナーURLはこちら→<https://www.rdsc.co.jp/seminar/250107>

- ◆日時:2025年1月20日(月) 12:30~16:30
- ◆アーカイブ配信:1月21日(火)~2月4日(火)期間中何度でも受講可能
- ◆受講料:1名につき49,500円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で49,500円(税込)から  
 ・1名で申込の場合、**46,200円(税込)**へ割引になります。  
 ・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計49,500円(2人目無料)**です。

## セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】NECO・no・Teエンジニア株式会社  
代表取締役 岩堀 圭吾氏

### 【習得できる知識】

- ・効率的な特許調査のしかたを習得できる
- ・特許公報の適切な読み方を身に付けられる
- ・特許権侵害回避の検討方法を理解できる

【趣旨】製品設計や企画、研究開発において、自社技術で特許権を取得することや、他社の特許権の侵害を回避することはとても重要なことであり、これらを怠ることでビジネス上不利な立場になることもあります。しかし、事前に特許調査を行うことの重要性は理解していても、特許調査の仕方を学ぶ時間や、特許調査自体を行う時間が捻出できない、難解な特許公報を読むためにさらに多大な時間が必要であり内容を理解するのも一苦勞であるという声も見られます。

多くの会社では、設計開発の担当者等が特許調査を兼務せざるを得ない実態があると思います。そのため、特許に対して十分な準備をすることができる、大きなトラブルに発展するケースが現実の問題となる可能性があります。

そこで、本セミナーでは、時間や十分な知識の無い設計・企画・研究開発担当者に対して、効率的な特許調査の方法を学んでいただき、実際に特許調査の演習を行って体験していただこうと思います。また、難解な特許公報について、どのように見ると良いのかという点についても学んでいただこうと思います。

1. 設計・企画・研究開発者が特許を意識すべき理由 【プログラム】
  - 1-1. 自社技術の独自性の抽出
  - 1-2. 他社技術動向の把握
2. 特許調査の基礎知識
  - 2-1. まずは調査を体験してみる(演習)
  - 2-2. 調査の種類と調査方法
  - 2-3. 特許分類
  - 2-4. キーワードと類義語
  - 2-5. 検索式
3. 特許公報の読み方と、特許用語
  - 3-1. 特許公報の構成
  - 3-2. 分野別の特許公報の読み方
4. 特許調査のセオリー的方法
  - 4-1. 事例演習
5. 特許侵害の基礎知識
  - 5-1. 権利一体の原則
  - 5-2. 製品構成の分解
  - 5-3. 侵害回避調査のポイント
  - 5-4. 他社特許の弱点の見つけかた
6. 特許に関する費用等
  - 6-1. 調査に割く時間
  - 6-2. 自社調査と専門家委託

『特許調査』セミナー申込書 FAX:03-5857-4812 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒< LIVE / アーカイブ >

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

### ● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に受け付けておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>